

# <図書委員オススメ本セクション> Vol. 6

「ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー」

ブレイディみかこ

誰もが一度は夢見るであろう海外での生活。その実情を知ることが出来る一冊です。日本ではあまり身近に感じる事のない宗教的問題から、昨今話題になっている人種差別、ジェンダー。そういったものに、私たちよりも若い少年たちがぶち当たっていきます。思わず「こんな考え方もあるのか」と感嘆してしまうような深い言葉を、是非あなたの目でご覧になってはいかがでしょうか。

2年女子

「鹿の王」 上橋菜穂子

ある日に起きた、岩塩鉱事件。岩塩鉱で働かせられた奴隷らが得体の知れぬ、「黒いあれ」にかまれ、全員が病にかかり死亡した。二人を除いて。その二人は、どさくさにまぎれて、逃亡したのだった。その後、その逃亡した奴隷を追うため、そして謎の病を解明するため、ある医者が立ち上がった。果たして、いったいその病は何なのか。そして、「黒いあれ」の正体は何だったのか。

1年男子

「シアワセなお金の使い方」 南野忠晴

「自分らしさ」を聞くと、私はすぐに「優しさ」とか「思いやり」とか「決断力」といった人の性格に関するものを思い浮かべてしまいます。本を読んで抽象的な自己イメージは何の役にも立たないとして考え方を大きく変えないといけないと思いました。

2年女子

「よるのばけもの」 住野よる

この本は、中学3年生の時の主人公がばけものの姿となり、夜の学校でクラスメイトの女子と会います。夜の学校での数日間、普段の学校生活ではわからなかった彼女の行動の“本当の意味”を知ることになります。彼女の行動の意味に気付いた主人公は正しいことは何か考えることになります。この本は、登場人物の心情がわかりやすく描かれておりとても読みやすいです。ぜひ読んでみてください。

2年女子

「アリエナクナイ科学ノ教科書」 くられ

「人間は不老不死になれる？」「タイムマシンは作れるの？」フィクションを理論的にありえない、からどうやったら科学的にアリエルのか、に変える一冊。マンガ「Dr. STONE」監修のくられ先生がおくる、現実にアリエナクナイ空想世界をより身近に感じることが出来る本です。

2年女子

「ボッコちゃん」 星新一

この本は星新一のショートショート集で、50編のお話を読むことができます。1編が10ページもないので、時間がないときや集中力のないときでも読みやすいです。愉快的話やスリリングな話など、最後に必ずオチがあって、楽しく読み進めることができます。よければ読んでみてください。

2年女子

「ノーチラス号の冒険」

ヴォルフガング・ホールバイン

この物語は、皆さん1度は耳にしたことがあるだろう「海底2万マイル」の続編です。今回はその続編の第1巻を読みました。第1巻は主人公マイクがその友人たちとノーチラス号を見つけ出すまでの話です。冒険ものとあり読んでいてとてもわくわくして話にのめり込みました。二百ページほどありますが熱中していると2時間半で読み終わりました。冒険をしたい方、是非読んでみてください！

2年男子

ゲームやSFに登場してくる不思議なアイテムやゾンビ。もちろん現実では存在していないし、作り出すことも難しいでしょう。しかし、本当にそうなのでしょうか。今の科学が可能にした昔の空想ものがあることも事実です。この本では出来るようになったことの紹介、さらに、理論的に出来ないことについて面白おかしく説明してくれています。アリエナクナイ不思議なモノ。気になった方は2も読むことをオススメします。

1年女子

「星の王子さま」 アントワヌ・ド・サンテグジュペリ

この物語に登場する飛空士の「僕」は、心からわかり合える人に出会えないまま生きてきました。しかし砂漠に不時着しそこで小さな星からやってきた王子様と出会います。この本は子供向けに書かれた物語ですが、高校生の私たちにも忘れかけたたくさんの大切なことを思い出させてくれます。まだ読んでことのない人、小さいころに読んでことがあるけれど内容を忘れてしまった人に、ぜひ読んでもらいたい作品です。

2年女子

「サファイア」 湊かなえ

「サファイア」には、様々な宝石が関わる短編の物語がたくさん入っています。「イヤミスの女王」湊かなえさんらしい、後味の悪い話から心温まる話など、最後まで目が離せません。読んでいる間に、「そういうことか!」「なるほど!」と声に出してしまうこと間違いなしです。1つの出来事に対しての登場人物たちの捕え方、考え方の差や違いにも注目してほしいです。

1年女子

「告白」 湊かなえ

湊かなえさんの代表作ともいえる「告白」を紹介したいと思います。タイトルだけ聞くと、恋愛小説と思うかもしれませんが、ミステリー小説です。娘を亡くした教師が自分のクラスにある「告白」をすることでこの話は進んでいきます。その中で、一人称が何度も変わるため、同じ出来事に対して様々な視点で見ることが出来るのが魅力だと思います。最後まであつという間に読めるので、ぜひ読んでみてください。映画化もされています。

1年女子